

「浦安から持続可能な社会を考える」をコンセプトに開催している映画祭は今年で4回目。忘れてはいけない記録を刻んだ映画、社会の豊かな可能性を提示する映画を集めました。土曜に観るか？ 日曜に観るか？ 歩いて観に行ける、わが町の映画祭です。

## 6/20 (土) 開場10:00 <sup>あらが</sup> 抗う土曜日

はだしのゲンが見たヒロシマ <sup>★石田優子監督</sup> 10:30



監督：石田優子 2011/日本/77分  
誰もが一度は手にしたことがあるあの名作の作者が被爆体験と半生を語った貴重な映像記録。家族の命を奪った原爆への怒りをぶつけた「黒い雨にうたれて」で漫画家デビュー。1973年から10年かけて「はだしのゲン」全10巻を描き上げた。ゲンはまさに作者の分身だ。  
第17回 平和・協同ジャーナリスト基金審査員特別賞

三里塚に生きる <sup>★北井一夫さん(写真家)、代島治彦監督</sup> 12:45



監督：大津幸四郎・代島治彦 2014/日本/140分  
1960年代にはじまった成田空港建設反対闘争。国の圧力と農民はいかに戦ったのか？ あの闘争は単なる「負け戦」だったのか？ 三里塚で今も抵抗を続ける人、戦いの場を去った人々などの証言に、かつての映像を交錯させて描き出す、千葉県発の「忘れられない物語」。  
2014年度 日本映画ペンクラブ文化映画部門第2位  
2014年度「映画芸術」日本映画ベストテン第3位

フタバから遠く離れて 第二部 <sup>★船橋 淳監督</sup> 15:45



監督：船橋 淳 2014/日本/114分  
福島第一原発事故の影響で埼玉県の旧騎西高校へ避難した福島県双葉町の住民たち。避難生活を記録した「フタバから遠く離れて」の続編。双葉町のほとんどの地域が帰宅困難地域に指定され、いまだ混乱の続く双葉町の姿を通して、原発行政が抱える矛盾をあぶり出す。  
2015年 ベルリン国際映画祭出品

シンポジウム～映画プロデューサーの役割

ドキュメンタリーが圧力を受ける時 18:00

弱者の視点に立ち、社会の矛盾を突くドキュメンタリーは、撮影や上映を妨げる圧力を受けることはあるのか。圧力に対し、どこまで譲歩し、自主規制をかけるのか。ドキュメンタリー製作サイドから今その内幕が明かされる！



代島 治彦 (スコブル工房代表、『三里塚に生きる』監督)  
橋本 佳子 (ドキュメンタリージャパン プロデューサー)  
山上徹二郎 (シグロ代表)

特別上映

触らぬバナナに祟りなし(仮題)



2009年、アメリカのある巨大食品企業の裏の顔を描いたドキュメンタリーが制作された。企業側は上映中止を求め、スポンサーに圧力をかけるなど、過激ともいえる対抗策を展開。企業は、自社ブランドを守るためどこまでやるのか。その顛末を追う。  
二度と観られない(?) 特別上映。お見逃しなく！  
(上映時間87分/20:40頃 終了予定)

★の回は上映後にトークイベントがあります。

- 入場後、入れ替えはありません。
- 上映スケジュールは変更になる場合があります。
- 映画祭の最新情報はホームページをご覧ください。

www.urayasu-doc.com

映画祭twitter: @UDFF2011 facebook: www.facebook.com/urayasudoc

1日何本観てもこの価格です！

入場料金

1dayパス (日付指定) 前売・事前予約 1,600円 当日 1,800円 高校生以下 1,000円

2dayパス (2日通し券) 前売・事前予約 2,999円 (当日の販売はありません)

アフター6パス (各日18時以降の入場券) 当日 999円 (前売発売なし、17:45より入場可)

●うらやすドキュメンタリーテークのサポーターの方は当日料金から200円引き

●事前予約は6/18(木)までにホームページから、もしくはお電話でお申し込みください

お問い合わせ先 浦安ドキュメンタリーオフィス TEL: 070-5454-1980 E-mail: info@urayasu-doc.com

会場



- ・JR京葉線新浦安駅下車 南口徒歩2分
- ・千葉県浦安市入船1-4-1ジョッパースプラザ新浦安4F

## 6/21 (日) 開場10:30 <sup>はくく</sup> 育む日曜日

夢は牛のお医者さん <sup>11:00</sup>



監督：時田美昭 2014/日本/86分  
昭和62年、新潟県の出あいにある小さな小学校に3頭の子牛が“入学”した。病気がちの牛たちを前に、一人の少女は思った。「私がお医者さんになって牛たちを治してあげる」。まっすぐに夢を追った少女の26年間に密着した、地方発のドキュメンタリー映画。  
2014年度 日本映画ペンクラブ文化映画部門第1位  
2014年度 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第3位

みんなの学校 <sup>★真鍋俊永監督</sup> 13:15



監督：真鍋俊永 2014/日本/106分  
特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学ぶ、そもそも学びとは何か？ あるべき公教育の姿とは？「全ての子供に居場所がある学校作り」を目指す大阪市・大空小学校の取り組みを丁寧に追い続けた。  
2013年度 文化庁芸術祭賞テレビドキュメンタリー部門第1位  
2013年度 日本民間放送連盟賞報道番組部門優秀賞 ほか

千年の一滴 だし しょうゆ <sup>★柴田昌平監督</sup> 15:30



監督：柴田昌平 2014/日本・フランス合作/100分  
仏教の肉食禁止令を受け、肉に代わる「うまみ」として自然の中から発見された「だし」、麴カビを特殊な撮影によるマイクロ映像でとらえた「しょうゆ」の2章からなる。自然との関係の中で1000年の時をかけて築かれた日本独自の食文化を日仏合作で浮き彫りにする。  
第6回 辻静雄食文化賞(2015)  
2014年度 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第2位

みつばちの大地 18:00



(19:31 終了予定)

マークス・イムホーフ監督作品  
2012/ドイツ・オーストリア・スイス合作/91分  
ミツバチは誰でも知っている。しかし、人間が食べる食物の1/3はミツバチが受粉していることを私たちは知らない。そのミツバチが大量に死に、失踪している。なぜミツバチは消えた？ マクロ接写でその生態を捉えたSF的驚愕映像ドキュメンタリー。  
2013年 スイス映画賞最優秀ドキュメンタリー賞  
2013年 ドイツ映画賞最優秀ドキュメンタリー賞 ほか

## 6/13 (土) 開場14:00 映画祭プレ上映会

標的の村 「第1回浦安ドキュメンタリー映画大賞2014」受賞記念上映！ 14:30



監督：三上智恵 2013/日本/91分  
オスプレイ配備、ヘリパッド建設に反対する沖縄県高江の人々に寄り添いながら、沖縄の抵抗の歴史を紐解いていく。2012年9月、普天間基地ゲート前に座り込み22時間基地を完全封鎖した人々と、強制排除に乗り出した警察との攻防を地元テレビ局のカメラは捉えた。  
2013年 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第1位

前売・事前予約 900円 当日 999円 高校生以下 500円

●うらやすドキュメンタリーテークのサポーターの方は当日料金から200円引き

●事前予約は6/11(木)までにホームページから、もしくはお電話でお申し込みください